

日本珪藻学会 第38回 研究集会（大阪狭山）プログラム

期 日：2018年10月27日（土）・28日（日）

会 場：近畿大学医学部（大阪府 大阪狭山市 大野東 377-2）

学会会長：南雲 保

研究集会会長：後藤敏一

第1日 10月27日（土）

12：30 受付開始

13：30 開会 学会会長・研究集会会長 挨拶

《口頭発表》【座長：伯耆晶子】

13：35 O1 気仙沼湾における2011年東日本大震災津波に伴う珪藻群集の変動

○塩見良三（大阪市立大・理）・鹿島 薫（九州大・理）・福本 侑（立命館大）・原口 強（大阪市立大・理）

13：50 O2 北海道瀬棚町に分布する太櫓層から見出された *Navicula* 属 s.l. について（予報）

○田中宏之（前橋珪藻研）・南雲 保（越後自然誌研）

14：05 O3 フィールド調査と培養実験からみた *Epithemia* 属 2 分類群の生存戦略

○鎌倉史帆（福井県立大・生物資源学）・佐藤晋也（福井県立大）

14：20 O4 琵琶湖産 *Fragilaria crotonensis* の群体のねじれについて

○根来 健・大塚泰介（琵琶湖博物館）

14：35 O5 自作ガラスチャンバーを用いた浮遊性珪藻の観察

○井出祐貴・松川雄二・梅村和夫（東理大・理）・真山茂樹（東学大）・Matthew L. Julius（Dept. Biol. Sci., St. Cloud State Univ.）

14：50 O6 珪藻の浮遊現象観察に適した横倒し顕微鏡の開発

○庄村慎悟（東理大・理・院）・平 久夫（北教大札幌・教育）・梅村和夫（東理大・理）・真山茂樹（東学大）

15：05 休憩

《ポスター発表》【進行：廣瀬孝太郎】

15：15 P1 東京湾で採取された砂付着性広義 *Amphora* 属数種について

○越智大生・真山茂樹（東学大）

P2 北海道石狩湾産海藻付着珪藻相とその特徴

○江川隆昭・鈴木秀和・神谷充伸・田中次郎（海洋大・藻類）・南雲 保（越後自然誌研）

P3 神奈川県横須賀市天神島の海産付着珪藻相

○太田梨紗子・鈴木秀和・神谷充伸・田中次郎（海洋大・藻類）・長田敬五（日歯大・新潟・生物）・南雲 保（越後自然誌研）

P 4 小笠原産アオウミガメ背甲附着珪藻の由来の検討

○小林未宇・鈴木秀和・神谷充伸（海洋大・藻類）・菅沼弘行・近藤理美（ELNA）・田中次郎（海洋大・藻類）・南雲 保（越後自然誌研）

P 5 海水中の珪藻相による南極海インド洋セクターと他海域の比較

○小林凧子・鈴木秀和・神谷充伸（海洋大・藻類）・滝本彩佳（特定非営利活動法人海苔のふるさと会）・田中次郎（海洋大・藻類）・南雲 保（越後自然誌研）

16:00 写真撮影

《ポスター発表》【進行：大塚泰介】

16:15 P 6 海産管棲珪藻の群体構造分析

○牟田神東陽奈（東海大・生命化学）・鈴木秀和・神谷充伸（海洋大・藻類）

P 7 無縦溝珪藻 *Staurosira* の殻形態形成

○串田桃子・真山茂樹（東学大）

P 8 珪藻野外試料における細胞生死判別のための PDMPO の適用

○二瓶日向子・真山茂樹（東学大）

P 9 珪藻被殻の断面を見る

○真山なぎさ・真山茂樹（東学大）

P 10 古琵琶湖層群堅田層（下部－中部更新統）から産出した中心類珪藻化石

○小島隆宏（筑波大学・院・生命環境）・齋藤めぐみ（科博・地学）・里口保文（琵琶湖博物館）

P 11 6th Polar Marine Diatom Symposium 参加報告

岩井雅夫（高知大）

《口頭発表》【座長：佐藤晋也】

17:00 O 7 濃尾平野地下の更新統における浅海生化石珪藻 *Lancineis rectilatus* の産出層準：GS-NB-1 コアの解析結果

○納谷友規・水野清秀（産総研）・須貝俊彦（東大）

17:15 O 8 海産砂着生珪藻 *Anorthoneis* 属の殻構造と分類学的検討

李 宇航（中科院海洋研）・鈴木秀和（東京海洋大）・○南雲 保・徐 奎棟（中科院海洋研）

17:30 話題提供：最近の中国珪藻研究

南雲 保（中科院海洋研）

17:55 最優秀発表賞の表彰式

18:05 懇親会（MM教室）

第2日 10月28日(日)

【シンポジウム】大阪層群・古琵琶湖層群・東海層群－珪藻研究の現状とビジョン－

各層群の古地理・古水系、古環境復元のツールとしての珪藻、珪藻の分布、珪藻の進化、琵琶湖の固有種など、さまざまな視点から珪藻研究の現状を紹介し、未来への研究へとつなぐ。

I. 古地理・古水系

9:10 招待講演：大阪～伊勢湾地域の鮮新世以降の地層群からみた古水系変化
里口保文氏（琵琶湖博物館）

II. 珪藻研究の現状

1) 大阪層群

9:55 珪藻を用いた大阪層群の古環境研究
○廣瀬孝太郎（早稲田大・創造理工）・三田村宗樹（大阪市大・理）・
兵頭政幸（神戸大・理）

10:25 休憩

2) 古琵琶湖層群・東海層群

10:35 琵琶湖の固有種の紹介と分子系統解析から見た分岐年代
○辻 彰洋（科博・植物）・服部圭治（名古屋大・環境）・大塚泰介（琵琶湖博
物館）

11:15 古琵琶湖層群と東海層群の化石珪藻
○大塚泰介（琵琶湖博物館）・服部圭治（名古屋大・環境）・富小由紀（たんさ
いぼうの会）

11:45 *Aulacoseira nipponica* (Skvortsov) Tuji: 「琵琶湖固有種」考
後藤敏一（近畿大・医・医学基盤教育部門）

III. 今後の展望

12:05 総合討論

12:30 閉会